

サツマイモの 上手な収穫と貯蔵法



〔探り掘り〕



〔本収穫〕



(1) つるを刈り取る



(2) くわを大きく打ち込んで芋を掘り上げる

初夏から盛夏にかけて盛んにつるを伸ばしてきたサツマイモは、やがて収穫の時期を迎えます。芋の肥大経過をたどってみると、通常8〜9月には半数以上が50g以上にもなり、その後急生長し10月中旬〜11月に入ると肥大は緩やかになります。霜が降りるころまで少しずつ太り続けます。自家菜園では必要に応じて探り掘り（株元に手を差し込み、適当に肥った芋だけを収穫する）、あるいは早掘り（株全部を掘り取る）して、8〜9月ころから秋

の味覚を楽しむようにしましよう。本格的な収穫の適期は、10月下旬〜11月で、肌寒さを感じ、初霜も近くなった頃です。初霜が降りると若い葉が枯れるので、すぐ分かります。何回か降霜に遭い、多くの葉が黒く枯れ上がったら待たなし、急いで全部掘り上げてください。収穫日はできるだけ畑が乾いていた方が芋のためにも作業のしやすさのためにも好都合です。

収穫の手順は、まずつるの株元部分を探り出し、地際から4〜5cm残し、鎌で刈り取ります。刈り取ったつるを畑の外へ運び出し、畝を丸裸にし、マルチフィルムを剥がしてから、芋を傷つけないよう注意して株元に大きくくわを打ち込み、芋全部を掘り出します。

その際注意すべきことは、つるは強大で大きく絡み合っているため、畑の中で50〜60cmほどの長さに鎌で切り分けて、畑から運び出しやすくしておくことです。また、掘り取る際には、少量の貯蔵なら、芋を新聞紙にくるんで、保湿性の高い発泡スチロールの箱に入れ、室内の冷暗所に置くだけで十分です。

板木技術士事務所

●板木利隆

「JA版農業電子図書館を」つかってみよう!!

当JAでは、病害虫や雑草、農業など生産に関する情報が簡単に検索できる、タッチパネル式の情報端末「JA版農業電子図書館」を窓口相談機能の充実と、迅速な指導や最新情報の提供等、組合員サービスの向上を図るため、営農施設に設置しています。

皆様のご利用をお待ちしております。

*設置店舗：総合営農経済センター
片貝営農センター
千田園芸資材センター



病害虫・雑草診断など簡単に操作できます!!
探りたい項目を指でタッチ!!